

令和5年 10月 11日

令和5年度第7回理事会議事録

日時:令和5年 10月 11日(水) 第7回理事会 18時30分～21時15分

会場:Web会議

出席者:中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、中野理事、工藤理事、鈴木理事、實光理事、
都留理事、千葉監事、田籠局長、本田局長、早瀬局長、増田第36回学術大会長、総務部中平

欠席者:稲村理事、安積局長

書記:中平

【議題】

I 令和5年度第7回理事会議題

1 承認事項

(1) 令和5年度第6回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

(2) 令和5年度第4回臨時理事会議事録

第4回臨時理事会は9月21日に役員メーリングによる審議であった為、本理事会にて追加承認された。尚、第4回臨時理事会の開催は行っていないため無効とする。

2 報告事項

(1) 第36回学術大会準備状況の報告

増田学術大会長より、学術大会の準備進捗について報告があった。大会日程は2024年7月28日、会場は大阪国際会議場の予定。大会テーマは「ワークライフ インテグレーション」とし、参加人数の見込みは約1350名(約130名の運営委員を含む)、予定演題数は120題(全て口述発表)などの概要が説明された。今後のタイムスケジュール確認、シンポジウムの内容確認等について質疑が行われた。来月を期限として予算案を提出予定であり、次回11月14日の理事会にて報告予定となる。

(2) 各局事業進捗報告

早瀬局長より、総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。追加報告として、井阪副理事長より、10月から開始されているインボイス制度について報告があり、センターの対応について継続して検討中であること、府士会のマイページから研修会等の領収証をダウンロードする際には、登録番号は記載されていない為、申し出があった方には別途、センターが対応することが説明された。實光理事より、情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。田籠局長より、生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。本田局長より、教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。

(3) 新領域 臨床認定カリキュラムにおける教育機関申請について

鈴木理事より資料に基づいて報告があった。新領域は循環器とし、オンラインでの開催で参加者は40名を予定していること、オンラインの為、会場は使用せず関西医療大学を基地として配信することについて説明があり、承認となる。参加費および講師料については継続して検討することとなった。

(4) 506 事業支出報告

井阪副理事長より、資料に基づいて理事長活動2件の報告があった。

(5) 学術大会ロードマップ・マニュアルの完成

本田局長より、資料に基づいて学術大会ロードマップ・マニュアルについて報告があり、承認となる。次期第36回については、既に前半部分を引き継いでおり、今回の承認を受けて、後半部分を引き継いでもらう。第37回では、全面的にロードマップに沿って適用する計画である。また、運営面においてIT技術に精通した会員の参加が望ましいことから、積極的に進めることの意見が提案された。また、学術大会部でZOOMアカウントを1つ持つ案が出た。まず、センターが持つアカウントのうち1つをあて、無理ならば新たにアカウントを契約する方向となった。

(6)第 37 回大阪学会 kickoff MTG において ZOOM に入室できなかった件について都留理事より、資料に基づいて報告があった。今回の案件は人為的な要因があるが、学術大会については、頻繁に会議の開催が予測されるため、人為的な要因を最小限にするための方策として、専用のアカウントを設定することが提案され、承認された。

(7)追加報告として、査読委員会委員長の鈴木理事より、大阪府士会の専門・認定理学療法士に対する査読者アンケートの途中経過報告があった。次回 11 月理事会で結果報告の予定となる。

3 審議事項

(1)理学療法士講習会に関する規定の制定について

中野理事より、資料に基づき、大阪府理学療法士会生涯学習センター主催理学療法士講習会に関して、講習会の採択基準、定員の上限およびキャンセルに関する規定の追加の提案があった。オンライン形式であっても人数制限が必要であるのかとの確認があり、収入と支出のバランスを考えて換算すると、50 名が妥当であることが説明された。また、オンライン形式も「講師 1 名につき」を追記することが説明された。これらの結果、承認となる。尚、日付は令和 5 年 10 月 11 日とすることとなった。

追加事項として、ホームページの研修会案内の表記について、一目で確認できる件数が少ない為、常時表記できることやより見やすいレイアウトについて改編できないかとの提起があった。情報管理局を通じて継続検討することとなる。

(2)第6回生涯学習研修集会の開催概要について

工藤理事より、資料に基づいて報告があった。第 6 回研修集会はハンズオンセミナーのみの開催としたこと、事前 webinar を開催して参加者対象に早期申込みを企画すること、テーマを設定することで企画意図を明確にすること、企業から広告等の収入を得ることについて説明された。企業参加については、今回は試行となり将来的に賛助会員制度が可能かどうか検討していくことの必要性が提起され、その上で、承認となる。日程は、第一希望の 2024 年 9 月 28 日(土)15:00～18:00、29 日(日)9:30～15:30 を採択し、承認となる。レセプションについては、継続審議となる。

(3)3士会合同研修会の開催に関する取り決め事項

鈴木理事より、資料に基づいて報告があった。当日の会場費の経費や参加費収入に関しては、1)案の各士会の会員数に応じた割合で分担することを採択し、承認となる。研修会の日程については、大阪学会・研修集会・認定カリキュラムと被らないように設定する。

(4)HP 掲載要件について

實光理事より、資料に基づいて HP 掲載要件について提起がなされた。現行の規定内容について、共通認識を再確認した上で、継続審議となる。また、府士会との連携を整備することの必要性も示唆された。

(5)市区町村理学療法士会主催研修会開催マニュアルの改訂について

工藤理事より、マニュアル改定案について資料に基づき説明がなされ、承認となる。しかし、今回の事案を鑑みて、市区町村士会に向けて再度周知し、理解の徹底を図ることの必要があるとの見解となった。

4 その他

(1) 井阪副理事長より、センター事業に協力した部員の特典として、オンライン配信を視聴できるようにしたいとの提案があり、全員一致で賛成となった。

(2) 井阪副理事長より、12 月 12 日火曜日に府士会で忘年会を計画されており、センターとの合同開催の打診があったことが報告された。

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	鈴木俊明		職名	理事
議題	新領域 臨床認定カリキュラムにおける教育機関申請について			
内容及び 提出趣旨	<p>1 新領域での教育機関申請について 新領域(循環)での臨床認定カリキュラムを来年度に開催するため必要書類を作成し、日本理学療法士協会へ申請を致しました(申請締切:9月末)。提出書類は認定申請書と様式1~4、6になります。うち特筆すべき報告事項として、認定申請書(新規)では、一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センターを教育機関とし、申請者と担当者を認定カリキュラム事業 部長の福本悠樹とし(申請手続きの便宜上で福本悠樹と設定を致しました。申請組織の代表者でなければならないという規定がないことは協会へ確認済みです)、2023年4月1日以降の申請には設置が必要な会計責任者は部員の福元喜啓と致しました(事業部内の部員をたてることで問題が無いことは当センター財務部長へ確認済みです)。様式1~3・6は、開催形式をオンライン開催としたうえで、その他は前年度の流れを踏襲する形での作成と致しました。様式4については、既に講師からは内諾を頂けており、選考基準としては、認定PT(循環)を有している大阪府士会員の理学療法士の起用と致しました。当センター役員も3名含まれております。上記の通り、9月21日に申請し、現在は審査中であります(審査結果は2月頃にメール通知)。</p>			
	添付資料(認定申請書/様式1-6)	認定理学療法士臨床認定カリキュラム循環の申請書類一式		
理事会での 意見・内容等				
審議結果				
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	506 事業理事長活動に伴う支出報告について		
内容及び 提出趣旨	交際費運用に関する規程第5条に則り、理事長活動について下記の2件について支出がありましたので報告致します。 ・9/16 臨定臨床教育者講習会の全国統一制度設計会議 富山県士会長及び佐賀県士会長との会議後の懇親会 →13,110円 ・9/30 第5回生涯学習研修集会(於:大和大学 対面研修) 講師2名(神津 玲先生、村木 孝行先生)との前日懇親会 (田籠実行委員長同席) →18,000円(9/29)		
	添付資料 (ファイル名)		
理事会での 意見・内容等			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留貴志	職名	理事
議題	学術大会ロードマップ・マニュアルの完成		
内容及び 提出趣旨	34回・35回学術大会をベースに作成していたロードマップ・マニュアルが完成した。 完成したロードマップを36回学会の運営委員に共有する。		
	添付資料（ファイル名）	https://dtbn.jp/YJ2mRDWR （2023.9版）大阪学会ロードマップ_20230921	
理事会での 意見・内容等			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留貴志		職名	理事
議題	36回学術大会準備状況の報告			
内容及び 提出趣旨	36回学術大会準備の進捗報告 前回大会からの引継ぎが終了し、現在の準備状況を報告する 報告者：増田知子 大会長			
	添付資料（ファイル名）			
理事会での 意見・内容等				
備考				
	対応部局または理事氏名			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志		職名	理事
議題	第37回大阪学会 kickoff MTGにおいてZOOMに入室できなかった件について			
内容及び提出趣旨	<p>10月5日20時より第37回大阪学会のkickoff MTGを開催する予定でした。しかし、開催時刻の20時になってもZOOMに入室できないトラブルが生じてしまいました。入室できなかったのは、今回参加される予定であった7名の南支部士会長および代理理事、中川理事長、射場副理事長、都留でした。</p> <p>20時16分に別のZOOM URLが学術大会部より通知され、谷埜大会長と学術大会部部員2名が既に入室されていたZOOMルームへ、20時30分頃から順次遅れて6名の士会長および射場副理事、都留が入室でき、MTGを開始できました。</p> <p>経緯：会議URLを発行の段階で別のミーティングと予定が被っており、事前に新たな会議URLが発行されていた。しかし、この新しい会議URLが参加者全員に通知されていなかった。</p> <p>原因調査をしたところ、人的ミスが確認されました。 ・新たに発行された会議URLの通知があったものの参加者に案内する者（学術大会部）がその通知を見落とした。</p> <p>南支部の各士会長とセンター役員へ案内した会議URLは、最初に発行された会議URLであったため、入室できない現象が起きました。</p> <p>以下、SE部からの通知内容（文面のみ記載）となります。 ===== 先日ご予約いただきましたZoom MTG 2023年10月5日 07:30 PM「37回学会キックオフミーティング」ですが、後期研修の予定と重複していることが確認できました。大変申し訳ございませんが以下のURLへ変更させてください。 =====</p> <p>なお、翌日に南支部の士会長様と谷埜先生宛にお詫びの連絡を都留よりさせていただきましたことを申し添え致します。</p>			
理事会での意見・内容等				
備考	添付資料（ファイル名）		都留 貴志	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	中野治郎	職名	生涯学習局理事
議題	理学療法士講習会に関する規定の制定について		
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>これまで、理学療法士講習会に関する正式な規定がなかったため、定員の変更、キャンセルがあってもその可否を判断する材料がなく、黙認してきた経緯がある。</p> <p>定員の増しは開催は、収入と支出のバランスが取れず、黒字となった場合にそれを管理する手段もないため、放置すれば営利目的の講習会が開催される可能性がある。</p> <p>またキャンセルについても、無条件で容認していくと参加費の返還などのトラブルが少なくてくる可能性もある。</p> <p>そこで、講習会の採択基準に加え、定員の上限およびキャンセルについての記載を含めた規定（または基準）を制定することを提案するので、審議していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料（ファイル名）	理学療法士講習会に関する規定	
理事会での 意見・内容等			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎	職名	生涯学習局理事
議題	第6回生涯学習研修集会の開催概要について		
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨) 2024年度開催予定の第6回生涯学習研修集会にの開催概要について、研修集会部で検討したため、ご審議頂きたい。</p> <p>【基本的な考え方】 研修集会は、ハンズオンセミナーのみとして、講師と受講生の相互関係の中から生まれる息吹により、より技術と知識の向上を図る研修集会を目指す。</p> <p>【テーマ】『技術に息吹を』</p> <p>【日程】参加者の参加しやすいであろう、土曜午後からの開催としたい。 第1希望 2024年9月28日(土)15:00～18:00 29日(日)9:30～15:30 第2希望 2024年10月5日(土)15:00～18:00 6日(日)9:30～15:30</p> <p>【場所】 森ノ宮医療大学 7教室 定員240名 (ベッド数と定員:40名定員会場4つ、30名定員会場3つ)</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料 (ファイル名)		
理事会での 意見・内容等			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	鈴木俊明	職名	理事
議題	3士会合同研修会の開催に関する取り決め事項		
内容及び 提出趣旨	<p>3士会合同研修会に関して以下のように運営したいと考えております。</p> <p>1 研修会の主催は3士会（本会は生涯学習センター）とする。</p> <p>2 センターの部員が研修会の準備で必要となった経費（会議費、交通費など）や大阪府理学療法士会の会員が研修会の講師となった場合の経費（講師料、交通費など）は、センターの基準で支払うこととする。また、大阪府作業療法士会、大阪府言語聴覚士会の会員が研修会の準備や講師になった場合の経費は、各士会の基準で支払うこととする。</p> <p>3 当日の会場費の経費や参加費収入に関しては、次の2つが候補となっている。</p> <p>1) 各士会の会員数に応じた割合で分担する。</p> <p>2) 3士会で均等割とする。</p> <p>各士会でのワーキンググループのメンバーが決定しました（資料参照）</p> <p>来年の具体的な開催日時や内容は今後の検討となる。 場所は森ノ宮医療大学でお願いします。</p>		
	添付資料（ファイル名）	3士会合同研修会 ワーキンググループ (PW : ptotst)	
理事会での 意見・内容等			
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	實光 遼	職名	理事
議題	HP 掲載要件について		
内容及び 提出趣旨	<p>添付資料に記載しておりますように、現在の規定では、ご依頼を頂いても一部の規定に引っかかることで掲載できない案件がでてきております。掲載内容を少し抽象化することを考えましたが、それでは逆効果を生む可能性があります。</p> <p>そこで提案があります。現在、私が把握している限り、センターが提供する学術的価値は、理事長が公言している「質が保証されている良質なものを会員に安価で届ける」とことと認識しておりますが、この”質の担保”とは何を指すのかを定義したく思います。</p> <p>これは、センターが掲げる価値 (Value) を明確化することと同義であるとともに、(今後一部は改変しても) 現在の規定は残しながらそれを軸に柔軟に判断するために必要なものと考えます。本来は、Vision と Mission に基づくものと思われませんが、協会→府士会→センター (学術) がある以上、Value だけを一旦定義しても良いのではと思いましたが、もちろん、1回で決めきれるとは考えておりませんので、継続審議の予定です。ご検討、よろしくお願い申し上げます。</p>		
	添付資料 (ファイル名)	ホームページ掲載に関する規程 (令和 5年 6月 1日改定)	
理事会での 意見・内容等			
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤 慎太郎	職名	理事
議題	市区町村理学療法士会主催研修会開催マニュアルの改訂について		
内容及び 提出趣旨	市区町村士会主催研修会開催マニュアルの改訂を以下の理由で実施したい。 1) 生涯学習ポイント・点数の付与について、協会要件と大阪独自要件が異なることで、セミナー登録時およびマイページでの表記時に実際の申請とは異なる表記となるという問題が生じるため。 2) 申請書とセミナー登録の書類とを2度センターに提出するなど、やりとりが煩雑になっている。		
	添付資料（ファイル名）		
理事会での 意見・内容等			
審議結果			
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 工藤慎太郎	